

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況



平成 19年 8月 9日

上場会社名 株式会社 加藤製作所 上場取引所 東証一部
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長 加藤 公康
 問合せ先責任者 執行役員財務部長 高橋 啓二 TEL (03) 3458 - 1130

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(注)前期より連結財務諸表を作成しているため、19年3月期第1四半期の増減率は記載しておりません。

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	13,330	19.7	947	66.1	1,092	89.2	621	60.6
19年3月期第1四半期	11,137	—	570	—	577	—	387	—
19年3月期	51,432	—	3,318	—	3,384	—	1,899	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	10.60	—
19年3月期第1四半期	6.60	—
19年3月期	32.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	69,393	29,489	42.4	501.44
19年3月期第1四半期	65,327	27,724	42.4	472.75
19年3月期	68,556	29,084	42.3	494.39

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	271	△ 87	△ 1,064	12,079
19年3月期第1四半期	△ 430	△ 203	△ 432	9,562
19年3月期	3,539	△ 954	△ 358	12,880

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
中間期	27,000	12.1	1,700	12.7	1,700	7.2	1,000	1.2	17.05
通期	56,000	8.9	3,500	5.5	3,600	6.4	2,100	10.6	35.81

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、平成19年5月18日発表時の業績予想数値に変更はございません。業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の売上高につきましては、荷役機械は建設用クレーンが国内を中心に引き続き好調に推移し、84億6千7百万円(前年同期比120.0%)となりました。ショベル等建設機械の売上高につきましても輸出の増加に伴い47億3千万円(前年同期比118.0%)と好調に推移致しました。

また、路面清掃車等その他機種も、1億3千2百万円(前年同期比177.6%)の売上となりました。この結果、総売上高は133億3千万円(前年同期比119.7%)となりました。

損益につきましては、大型機種の販売が好調に推移し、売上原価の改善がみられた事や、円安に伴う為替差益もあり、経常利益は10億9千2百万円(前年同期比189.2%)、四半期純利益は6億2千1百万円(前年同期比160.6%)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は120億7千9百万円となり、前期末と比較して8億円減少いたしました。当期における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動による資金の増加は、2億7千1百万円となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益10億9千1百万円及び、仕入債務の増加額16億3千1百万円の増加要因に対し、たな卸資産の増加額14億7千3百万円、法人税等の支払額10億3千8百万円の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、8千7百万円となりました。その主な要因は、工場関係の機械設備等の取得8千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の減少は、10億6千4百万円となりました。その主な要因は、借入金返済額8億2千5百万円と利益配当金の支払額3億7百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね予想通りに推移しております。従いまして、現段階では平成19年5月18日発表の連結業績予想を修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

(4) その他

当第1四半期より「受取手形」につき、期日が決算期末から起算して1年をこえるものについては長期受取手形として、「投資その他の資産」に表示しております。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	9,562	12,079	2,516		12,880
2 受取手形	22,994	12,223	△ 10,770		21,659
3 売掛金	10,072	11,436	1,363		11,627
4 たな卸資産	10,793	11,207	413		9,708
5 その他	1,518	1,775	256		1,539
貸倒引当金	△ 237	△ 149	87		△ 202
流動資産合計	54,705	48,572	△ 6,132	△11.2	57,213
II 固定資産					
1 有形固定資産	5,975	6,011	36		5,987
2 無形固定資産	151	604	452		608
3 投資その他の資産	7,026	16,741	9,714		7,255
貸倒引当金	△ 2,532	△ 2,537	△ 5		△ 2,508
固定資産合計	10,622	20,820	10,198	96.0	11,342
資産合計	65,327	69,393	4,066	6.2	68,556
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	13,186	14,865	1,679		13,628
2 買掛金	4,634	5,418	783		5,012
3 短期借入金	9,374	9,064	△ 310		9,856
4 引当金	529	569	39		748
5 その他	2,477	3,292	814		3,412
流動負債合計	30,203	33,210	3,006	10.0	32,658
II 固定負債					
1 長期借入金	4,801	4,592	△ 208		4,522
2 退職給付引当金	2,024	1,554	△ 469		1,729
3 役員退職慰労引当金	493	507	14		510
4 その他	80	39	△ 40		49
固定負債合計	7,398	6,693	△ 704	△9.5	6,812
負債合計	37,602	39,904	2,301	6.1	39,471
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	2,935	2,935	0		2,935
2 資本剰余金	7,109	7,109	0		7,109
3 利益剰余金	17,009	18,615	1,606		18,301
4 自己株式	△ 13	△ 17	△ 4		△ 16
株主資本合計	27,040	28,642	1,601	5.9	28,329
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	618	522	△ 96		535
2 為替換算調整勘定	65	237	172		124
評価・換算差額等合計	683	759	76	11.1	660
III 少数株主持分					
	—	86	86	—	94
純資産合計	27,724	29,489	1,764	6.4	29,084
負債純資産合計	65,327	69,393	4,066	6.2	68,556

(注)当第1四半期より「受取手形」につき、期日が決算期末から起算して1年をこえるものについては長期受取手形として、「投資その他の資産」に表示しており、その金額は9,607百万円であります。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	11,137	13,330	2,193	19.7	51,432
II 売上原価	9,321	10,938	1,616	17.3	42,787
売上総利益	1,815	2,392	576	31.8	8,644
III 販売費及び一般管理費	1,245	1,445	199	16.0	5,325
営業利益	570	947	376	66.1	3,318
IV 営業外収益	101	238	136	133.5	482
V 営業外費用	94	92	△ 1	△2.0	416
経常利益	577	1,092	515	89.2	3,384
VI 特別利益	110	—	△ 110	—	23
VII 特別損失	1	0	△ 0	△61.0	7
税金等調整前四半期(当期)純利益	686	1,091	405	59.2	3,400
税金費用	298	483	184	61.7	1,500
少数株主損失	—	13	13	—	—
四半期(当期)純利益	387	621	234	60.6	1,899

（3）（要約）四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（平成20年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計
平成19年3月31日残高	2,935	7,109	18,301	△ 16	28,329
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 307		△ 307
四半期純利益			621		621
自己株式の取得				△ 1	△ 1
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計	—	—	313	△ 1	312
平成19年6月30日残高	2,935	7,109	18,615	△ 17	28,642

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	535	124	660	94	29,084
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△ 307
四半期純利益					621
自己株式の取得					△ 1
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△ 13	113	99	△ 8	91
当四半期中の変動額合計	△ 13	113	99	△ 8	404
平成19年6月30日残高	522	237	759	86	29,489

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	686	1,091	3,400
2. 減 価 償 却 費	75	125	374
3. 貸倒引当金の減少額	△ 130	△ 23	△ 188
4. 退職給付引当金の減少額	△ 13	△ 179	△ 307
5. 役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 5	△ 3	12
6. 受取利息及び受取配当金	△ 7	△ 14	△ 27
7. 支 払 利 息	40	57	240
8. 為 替 差 損 益	1	△ 51	15
9. 割賦販売前受利息の増加額	88	21	327
10. 固定資産売却却損	1	0	7
11. 売上債権の増減額(増加:△)	△ 340	71	△ 589
12. たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 1,013	△ 1,473	71
13. 仕入債務の増加額	1,049	1,631	1,868
14. 未払費用の増加額	278	400	295
15. そ の 他	△ 85	△ 289	△ 153
小 計	623	1,363	5,347
16. 利息及び配当金の受取額	7	14	27
17. 利息の支払額	△ 61	△ 67	△ 262
18. 法人税等の支払額	△ 1,000	△ 1,038	△ 1,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 430	271	3,539
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△ 202	△ 85	△ 481
2. 有形固定資産の売却による収入	—	0	0
3. 無形固定資産の取得による支出	△ 0	△ 2	△ 473
4. 投資有価証券の売却による収入	0	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 203	△ 87	△ 954
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純増減額(減少:△)	450	△ 219	△ 56
2. 長期借入れによる収入	—	70	3,000
3. 長期借入金の返済による支出	△ 588	△ 606	△ 2,879
4. 自己株式の取得による支出	△ 0	△ 1	△ 3
5. 少数株主からの出資受入による収入	—	—	94
6. 配当金の支払額	△ 293	△ 307	△ 513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 432	△ 1,064	△ 358
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	79	23
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,067	△ 800	2,250
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,630	12,880	10,630
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	9,562	12,079	12,880

（5）セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	荷役機械	建設機械	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	8,467	4,730	132	13,330	-	13,330
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	-	-	16	(16)	-
計	8,484	4,730	132	13,347	(16)	13,330
営業費用	7,832	4,458	108	12,400	(16)	12,383
営業利益	651	271	23	947	-	947

（注）1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

（1）荷役機械……建設用クレーン

（2）建設機械……油圧ショベル、アースドリル

（3）その他……路面清掃車、万能吸引車他

海外売上高

当四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	1,792	1,451	3,244
II 連結売上高	-	-	13,330
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	13.4%	10.9%	24.3%

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分の主な国又は地域

（1）アジア……東アジア、東南アジア他

（2）その他の地域……ヨーロッパ、中近東、アフリカ、オーストラリア他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。